

2018 年度 女子部の習字

渡辺 陽子

今年度は、一年間で 32 回の習字集めがあり、新入生と、研修旅行に出かけた中等科 3 年は 31 回の提出であった。熱心に取り組んだ人も、書かなければならないと思って書いている人も一週間に何があったか、どんなことを感じ考えたか振り返り、自分の心に問いながら言葉を考え、筆を運んで書いてきた。筆を持つことは苦手と思っている生徒でも、静かに自らを振り返り、半紙に収まる短い言葉を考えるその時間は心を静める貴重な時間である。書いてきた習字の文字は拙くても、一生懸命考えたであろうその言葉にはしばしば心を動かされる。

お書初め以外で一年間に「人」の印を押したものは全クラスで 1172 枚、押された人数は 114 人である。一月の書初めでは 4 名の人に「地」の印を押すことができた。

習字の担当をした教員

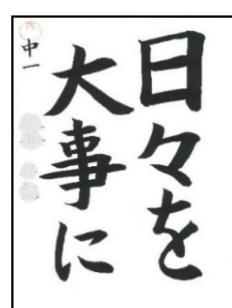
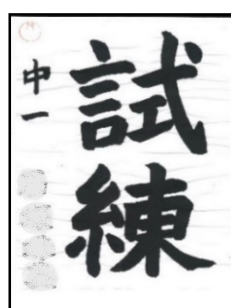
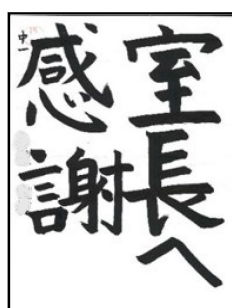
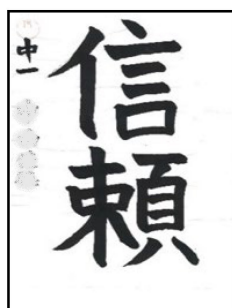
中等科 1 年	寺尾恵理子	中等科 2 年	二宮幸子	中等科 3 年	二宮幸子
高等科 1 年	長 左絵	高等科 2 年	渡辺陽子	高等科 3 年	竹上尚子

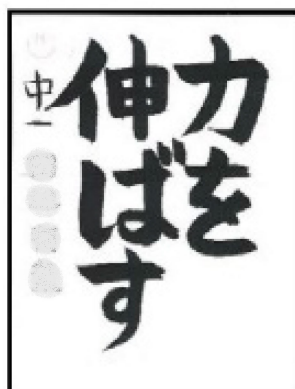
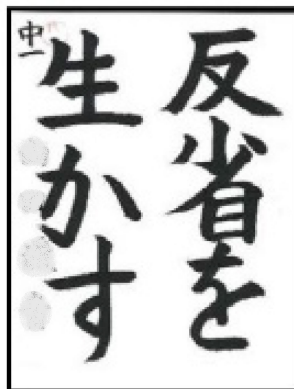
中等科 3 年は、習字を集める委員が出ており、習字を集めることについては意識が高い。なぜ習字を書くのか、皆が忘れないためにはどうしたらよいかなど懇談でも多くの話し合いをしたようである。そして女子部全体にも気を付けたいことなど呼びかけもした。その一方で、自分たちで習字の勉強をもっとしたいと月に一度、土曜日の解散後に教室に希望者が集まり、習字の勉強を始めた。

教師が指導に赴くこともあった。そうして熱心に練習を重ね、だんだんと力をつけてきた人が多くいる。自主的にそのような学びを実行したクラスがあったことも今年の嬉しい記録となった

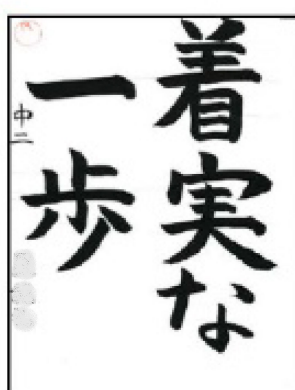
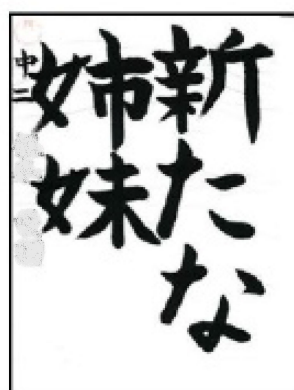
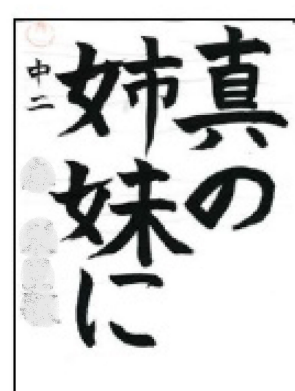
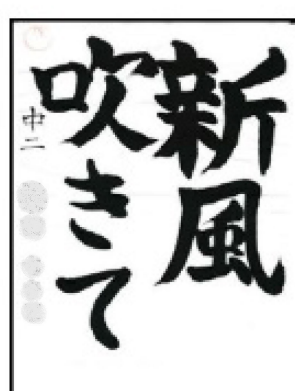
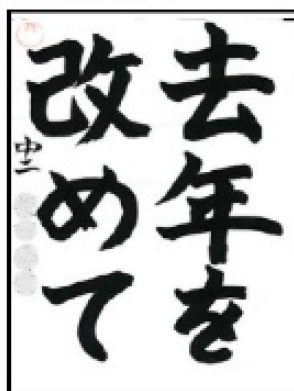
一年間の習字から各学年数枚ずつ選んでみた。

中等科 1 年

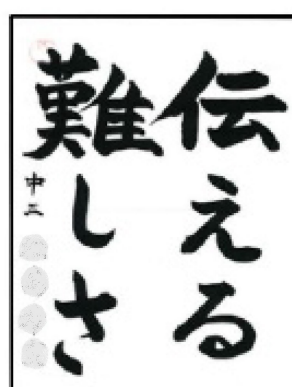
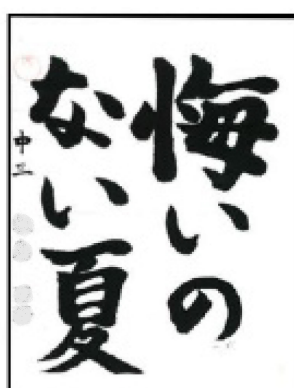
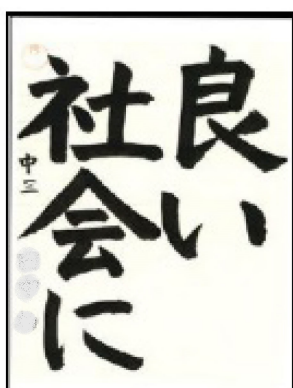
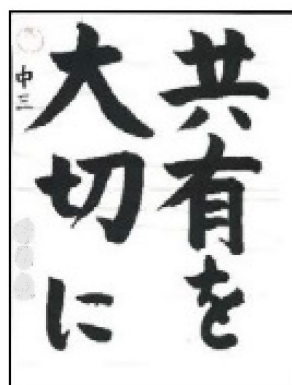
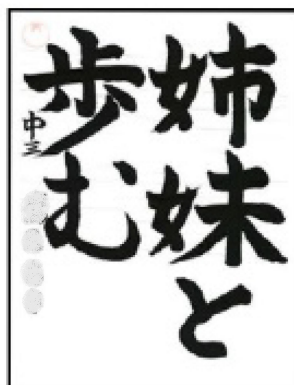
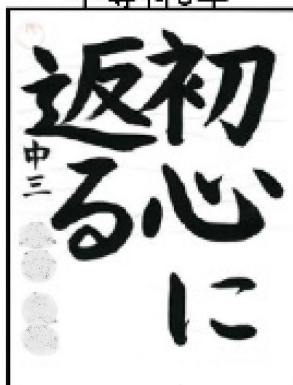




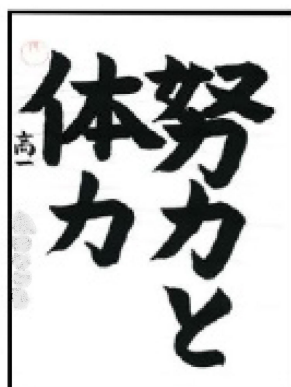
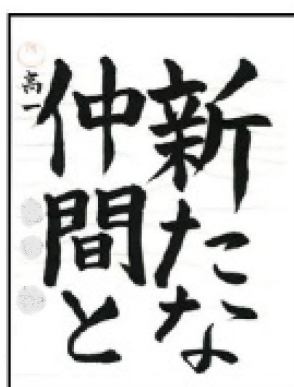
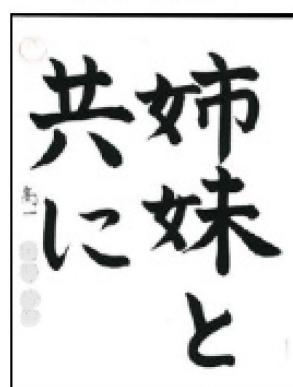
中等科2年

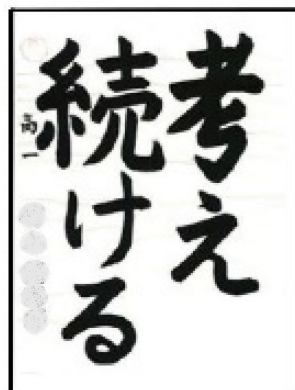
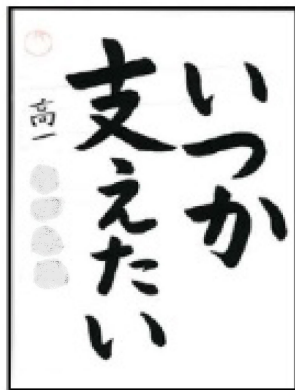


中等科3年

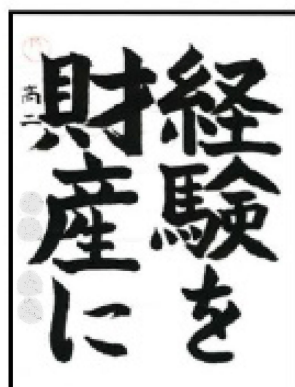
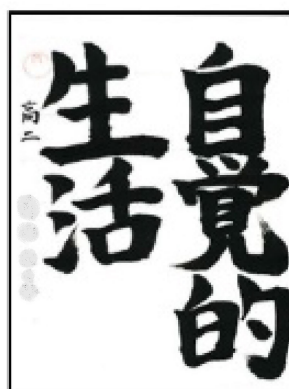
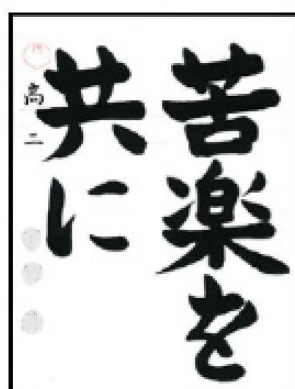
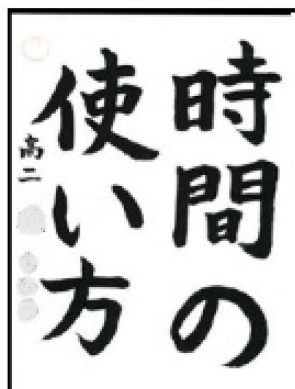


高等科1年





高等科2年



本質と
目的

明日の
糧に

高等科3年

愛と
厳しさ

支える
大切さ

挑戦し
続ける

信じて
祈る

仕える
人に

成長を
感じる

青空に
咲く

一つの
思い

芯と
温かさ

強い人
になる

2018年度 「地」の書初め

